

Profile

～中村 文昭物語～

中村 文昭

三重県多気郡大台町(旧宮川村 大杉谷)に生まれる。
97%が山林というド田舎。幼少期は魚を取ったり山菜を取ったりと、毎日野山を駆け回る。
体が大きかったこともあり仲間内では常にリーダー的存在となる。

14歳

同級生から総スカン

中学2年生のとき、それまで威張り散らしていた同級生全員からある日突然無視される。
以後13か月の間、同級生の誰とも口をきかない日々が続く。

15歳

皇學館高校入学

中学生のときの無視され続けた経験を生かし、高校に入ってから周りの友人を大切にする。
他人のいいところ探しが得意になる。

18歳

東京へ上京

高校卒業後、兄を追いかけるように東京へ上京。

防衛庁突入事件

壊れた自転車でブレーキが効かず防衛庁に突入。
警備員に取り押さえられた後、今後二度と防衛庁に近付かないという誓約書を書かされる。

自転車泥棒疑惑

壊れた自転車を押して帰っている途中、自転車泥棒と勘違いされ警察官に呼び止められる。
職務質問を受けた後、その警察官と仲良くなり食事をご馳走になったり仕事を紹介してもらったりする。

人生の師匠との出会い

ある日、焼き鳥屋でその後の人生に大きな影響を受ける大物リーダーと出会う。
彼のはなしを聞きその場で弟子入りを決意、彼の商売『野菜の行商軍団』に加わる。

都内に飲食店をオープン

六本木や麻布などに5店舗まで拡張。

21歳

地元三重県にて『クロフネ』(1号店)オープン

徹底してお客様を喜ばせて『クロフネ』を大繁盛させる。

26歳

ウェディングレストラン『Living Cafe Kurofune』(2号店)オープン

2人が列席者の方から本当に祝福してもらえるウェディング作りを目指し演出を手がける。
年間約50組の挙式・披露宴をプロデュース。
その後、3号店をオープンさせるも失敗、挫折を味わう。

32歳

講演活動開始

知人から頼まれ、大勢の経営者の前で話しをする。
その時の噂が口コミで評判をよび、現在では年間300以上の講演依頼を受ける。
企業・地域団体・学校関係など対象は様々。

37歳

耕せにっぽん活動開始

離農が進み土地がどんどん荒れていく地方の現状、都会で社会問題とされているひきこもり・ニートの若者たちの増加。
この二つの問題を組み合わせ、一気に解決してしまおうと“耕せにっぽん活動”をプロデュース。
何度も失敗を繰り返しながら近隣農家さんの力も借りてトウモロコシを中心に多くの野菜を生産している。

39歳

あこがれ先生プロジェクト

学校関係に講師として呼ばれたときに出会ったたくさんの素敵な先生達。
そんな先生方にスポットが当たるイベント“あこがれ先生プロジェクト”をプロデュース。
全国から多くの現職の先生や、将来先生を目指す学生が参加。大成功を納める。